

「東京坂番付」と「番付坂」

机の近くにある「測量地図百年史」という本は、私の仕事には欠かせない大切な書籍の一つです。その中に、明治期の地図印刷技術者を網羅した「石版技手人名鑑」という、レアな番付ものが掲載されています。このような相撲番付にちなんだ、「〇〇番付」といったものは世の中に数多くあって、収集を始めたら面白いのではないかと思ったこともありますが、几帳面や執念からほど遠いところにいる私からは、すぐに忘れてしまった。

そんなあるときにスクラップした新聞記事の中に、「東京坂番付」というのがありました。埃を避けつつ切れはしを探し出してみると、その作者は源友雄さん（そのとき、すでに故人）という方で、記載された番付には東京の466の坂道が「勾配・長さ・曲度・風格・景觀・知名度・そして編者の主観」の7項目で評価・採点したとあります。

私は、以前から番付にあるような坂道、そして階段（石段）、峠、曲がり角といったものには、ある種の「ドキドキ感」が感じられると思っています。それは、見知らぬ土地の地図を見て現地の景色を思い浮かべるのに似ていて、「無縁坂」、「蟬坂」、「袖摺坂」などという名称を聞いただけで勝手に想像してしまいます。

地図を片手に現地を訪れることがあれば、歴史を感じさせる建物や塀、そして道端の古木の緑陰などから、期待はさらに膨らみます。明治期、蟬の声が騒がしい季節に、この坂を登ったのはどのような人たちだったのだろうか、ここでは、どのような事件が起きたのだろうかなどといった風に、想像は尽きないでしょう。見えない坂道の先への期待感は、学校帰りの道草と同じようなもので、いつもどおりでないことがよいのです。

「東京坂番付」による東の横綱は神楽坂、西の横綱は紀の国坂です。

そして、数ある坂の中には「坂番付」にふさわしい「番付坂（茱萸坂 ぐみさか、別名：さんのうさか）」という名の坂もあります。それは、国会議事堂の南脇を東から西へ向けて登るもので、坂道に建てられた説明柱によると「山王（日枝神社）の祭礼の花車には番付札がつけられていて、それをこの辺りで改めたと『江戸名所図会』にある」のだといいます。それでは、「無縁坂」や「蟬坂」、「袖摺坂」には、どんないわれがあるのでしょうか。散策がてら、現地の説明書きを読み歩くには良い季節になりました。

皆さんの町には、「曲がり道番付」や「美しい小さな道番付」はありませんか。作ってみませんか。

ちなみに、紀の国坂は、地下鉄竹橋駅あたりから西へ登る坂道で、坂道の北側には国立近代美術館、国立公文書館があるところです。



神楽坂



番付坂（茱萸坂 ぐみさか）

【散歩の途中で】

歩きが苦手な方、事前にいわれを知りたい方は、東京に存在する 600 以上もある名前の付いた坂道を紹介する「東京 23 区の坂道」という下記のサイトが役に立ちます。

<http://members.at.infoseek.co.jp/fookee/tokyosaka.htm>

日本海と太平洋の境はどこ？

日本海と太平洋の境は、どこにあるのでしょうか？

そんな疑問を持ったことはありませんか。

地名とは、特定な地点、あるいは一定の広がりを持つ土地に付けられた名前ですから、対象とする地域や地点が明らかなはずです。地図の上に書かれた注記文字によって、その広がりや地点が概ね特定されるようなら、正しく表現された地図ということになります。

それは何も陸に限ったことではありません。海図における名称、〇〇海、△△海峡、××海山といったものであっても、同じようなことです。それらの名称の範囲が明らかにならなければ、正しく地図（このときは海図ですが）に表現できません。

それでは、太平洋とは、日本海とはどのような範囲をいうのでしょうか。どのような取り決めになっているのでしょうか。

太平洋はいかにも広すぎて話が進めにくいので、日本海と津軽海峡に注目して、日本海はどこまで、太平洋はどこからいうのかを探ってみましょう。

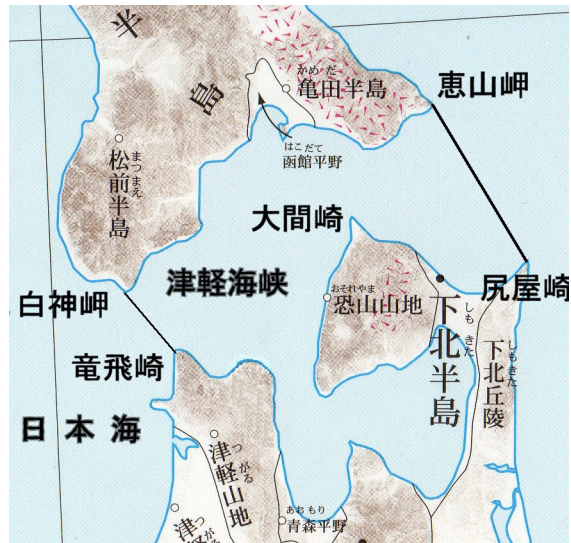
1919年ごろから、海の境界やそれを結ぶ海峡を明らかにしようとする国際的な動きがありました。そして各国の水路局の集まりである「国際水路局」によって、1928年にはそれぞれの境界を示した出版物（Limits of Oceans and Seas）が刊行されました。

そこでの津軽海峡とは、東口は尻屋崎と恵山岬を結んだ線、西口は竜飛岬と白神岬を結んだ線までをいいます（海図では、「岬」「崎」を使わずに、「埼」を使います）。

この付近での日本海の東端は、津軽海峡の東口までをいい、北東の境は宗谷岬と西能登呂岬（サハリン）を結んだ線、その他詳細は省略しますが、北の端は間宮海峡・・・、南東の界は関門海峡の西口・・・、南西の界は野母埼から・・・といったように細かく決まっています。

このように、世界中の海や海峡は、その界が詳細に決められています。

最初の質問ですが、大間崎の北東で海難事件が起きたとき、その地点が尻屋崎と恵山岬とを結んだ線の東側なら、「津軽海峡に近い太平洋で起きた事故」、その西側なら「津軽海峡（日本海の東）で起きた事故」になります。



津軽海峡の地図

【散歩の途中で】

- ・ 美味しい大間のマグロが食べたくなったら方は
<http://www.oma.co.jp/>
- ・ 海や海の境についてもっと、詳しく知りたい方は！
海上保安庁 第一管区海上保安本部
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>
海上保安庁海洋情報部
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

石垣に見える明治期地図の始まり

近代的な地図作りは、地球の大きさや形を知ることから始まります。次いで、地図を作る地点の地球上における正確な位置を知る測量をすることになります。そのための測量には、平面位置を知る三角測量と、高さを知る水準測量があります。

では、こうした測量が日本ではいつどこから始められたのかというと、それは明治に入ってから、お雇い外国人の指導の下で新政府の技術者により行われました。

本格的な三角測量は、明治5年3月工部省測量司という役所が東京府内で行ったのが始まりです。水準測量は、明治9年内務省地理寮によって東京湾から宮城県塩釜港まで行われたもの、あるいは東京府下一帯で行われたのが最初です。

ところで、三角点標石の形はどのようなものか知っていますか。現在のそれは、20cm四角ほどの頂に、十字の刻みがある四角柱です。水準点標石も同じような柱石ですが、頂の中央に「へそ」のような小さな高まりがあります。では、この形は明治期のころからものだったのでしょうか。それを確かめるに、皇居東御苑へお出かけになることをおすすめします。

明治5年の工部省の測量は、府内に13か所の三角点が設置されましたが、その最初は皇居本丸の「富士見櫓」に置いたことになっています。「富士見櫓」付近は、現在立ち入り禁止ですが、ある者の調査ではそのときの標石は現存していません。しかし、類似の石が本丸天守台跡にあります。本丸天守台跡の登り坂の左手柵外の桜の樹下です。その形はというと、24cm×24cmの頂に、対角線に×の刻みがある四角錘台といったものです。

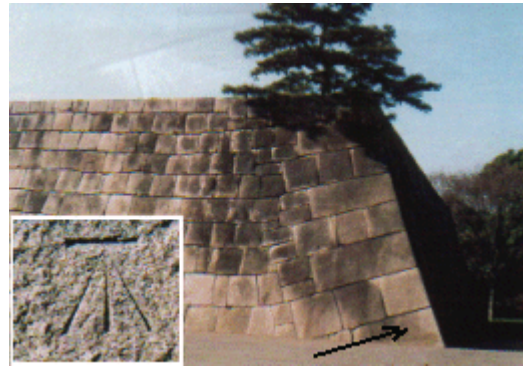
初期の水準点は、皇居東御苑の本丸天守台跡の石垣の隅にあります。これは、「几号水準点」と呼ばれ、灯籠や石垣などの保存性の良い構築物に、テーブル状（「不」字形にも見える）の刻みを入れて使用しました。この水準点は、当時のお雇い外国人の影響を受けたもので、現在のイギリスにも見られる形式です。刻みに特殊な器具を取り付けて観測する手はずになっています。

さらに富士見櫓は、明治の一時期日本の本初子午線（経度零度とした子午線、現在の英ケンブリッジ天文台にあたる）となったところです。さらに、本丸天守台跡を登りきって右手柵の外には、残念ながらここも立ち入り禁止ですが、石垣に直接刻まれた（珍しい）現行の三等三角点「天守台」があります。

梅や桜、ツツジなどの季節の花が美しい庭園、そして昭和天皇のお声掛かりで整備されたという武蔵野の雑木林なども迎えてくれます。もちろん、松の廊下跡や大奥跡の案内板もあって、それぞれの興味によっては一挙十得にもなる観光スポットです。ちょっと知ったかぶりして、同行者を驚かしてみたいかでしょうか。



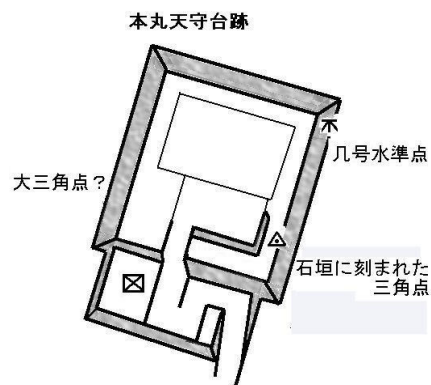
工部省三角点に類似した（大三角点？）標石



几号水準点



本丸天守台跡の石垣に刻まれた三角点



本丸天守台付近見取り図

【散歩の途中で】

- ・ 皇居東御苑
- ・ 几号水準点は、そのほかに以下にもあります。

「(皇居) 桜田門石垣」の几号水準点（東京都千代田区千代田1丁目1 桜田門入り口正面 向かって右下石垣）

「一石橋際迷子知らせ石標」の几号水準点（東京都中央区八重洲1丁目1 1番先 石標正面 下部）

○「一石橋迷子知らせ石標」について

「一石橋迷子知らせ石標」について

安政4年に、迷子案内のために建てられました。

正面には、「満（ま）よひ子の志るへ」と、左面に「たつぬる方」、
右面「志らする方」と刻まれています。

左右には四角いくぼみがあって、そこへ年のころ、体の特徴、身につけていた履物や衣類といった、たずね人の特徴を書いた紙を貼ったといひます。

日本で一番低いところはどこ？

日本で一番高いところが、富士山であることは誰でも知っているでしょう。

では、富士山のそのまたどこが日本一高い地点でしょうか。

富士山頂には二等三角点「富士山」という測量に使われる標石があって、その頂部標高は 3,775.63 m です。ここは、日本の最高所三角点ですが、最高所地点ではありません。国土地理院が確認した最高所地点は、その三角点のやや南側にある岩の頂で、ここの標高は 3,776.24m です。著者は富士山に登頂していませんので詳細は分かりませんが、登頂の機会がある方は、本当の山頂を確認して“なぜなぜ”して見ると、ちょっと特をした気分になるかも知れません。

それでは、反対に日本でもっとも低い地点はどこにあるのでしょうか。

最近は、あまり話題になっていませんが、日本にはゼロメートル地帯と呼ばれる場所が各地にあります。最も顕著なのが東京の下町です。東京都江東区南砂七丁目には、マイナス 2.5m 前後の水準点と三角点があって（現在、三角点は土中に埋没しているとの情報もある）、付近の標高はもちろんゼロメートル以下です。

ところが、下には下があって、さらに低標高の三角点が他にあります。それは、秋田県の大潟村で、そこでの三角点標高はマイナス 4.4m（「地図閲覧サービス」では地形図に記載なし）、地図上に見える周辺の標高もマイナス 4m 前後ですから、ここが日本で一番低いところでしょうか。

いや、さらに下があります。

人工的なものになりますが、八戸市には国内有数の露天掘り石灰鉱山、住金鉱業八戸石灰鉱山（八戸キャニオン）があって、掘られた深さは現在海面下 135m に達しているといわれています。ここには、展望台もありますから地上から見られる場所としては、日本で一番低いところかもしれません。

「日本一低い山」ではありませんが、人工的なところでも良いならさらに低い地点があります。地下トンネルの中です。一般者でも近づけそうなのは関門トンネルや青函トンネルでしょう。関門トンネル（福岡県北九州市門司区）内には、国土地理院の水準点があって、その標高マイナス 47.9m です。青函トンネル内にも一等水準点があって最深部に近い水準点の標高は、マイナス 256.6m です。

このように、地表面だけでなく、人が到達できた最も低い地点ということなら鉱山や洞窟の中には、多くの人には知られていない更なる最低地点があると思われます。

○東京都江東区南砂七丁目

一等水準点 No. 9833 標高マイナス 2.4460m

三等三角点「砂村」 標高マイナス 2.52m

北緯 35° 40′ 7″ .6418、東経 139° 50′ 15″ .9778

○秋田県南秋田郡大潟村

三等三角点「大瀧」 標高マイナス 4.43m

北緯 40° 0′ 43″ .3032、 東経 139° 59′ 57″ .517

○青森県八戸市大字松館字長坂 9-1 住金鉱業八戸石灰鉱山

標高マイナス 135m

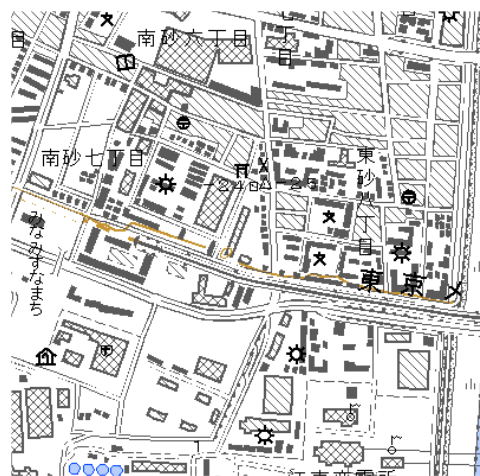
北緯 40° 27′ 06″、 東経 141° 32′ 13″

○青函トンネル（北海道/青森県）一等水準点 N011379

標高マイナス 256.5674m

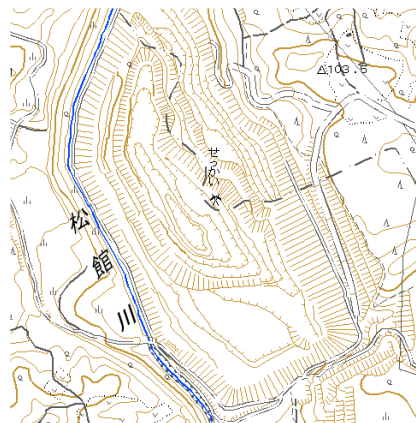
○関門トンネル（福岡県/山口県）道路水準点 NO 2-534

標高マイナス 47.8929m



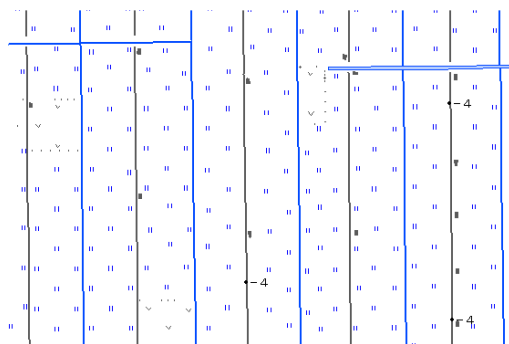
三等三角点「砂村」付近

(1/25,000 地形図「東京首部」)



住金鉱業八戸石灰鉱山付近

(1/25,000 地形図「新井田」)



三等三角点「大瀧」付近
(1/25,000 地形図「大瀧」)



青函トンネル内の水準点

【散歩の途中で】

- ・ 住金鉱業八戸石灰鉱山は見学できる。
<http://www.icee.gr.jp/sisetudb/prev.php?id=367>
- ・ 関門トンネル（人道）
- ・ 日本で最も低いところにあるJRの弥富駅（愛知県弥富市）標高マイナス0.93m
- ・ 日本で最も低いところにある京葉線東京（地下）駅（東京都千代田区）標高マイナス29.19m

かつては、都営地下鉄馬喰町駅が、マイナス30.58mとしていましたが、27.1mに修正された。また、津軽海峡線の吉岡海底駅、標高マイナス149.5mがあったが現在は営業していない。

傘式地球儀を作った人

子どものいる家庭ならどこにでも一つくらいある地球儀ですが、子どもが成長するにしたがい、本棚の上などでほこりをかぶることが多く、変形であることから収納にも困り、少々やっかい者扱いされていませんか。このことを解決した地球儀を製作した人が江戸時代にいました。

常陸国土浦の人沼尻墨僊（ぬまじり ぼくせん 1775-1856）は、幼少より向学心が旺盛で、勉学に精を出していましたが、いつのころからか地理学に興味を持ち始め研究書などを著しました。誰に師事して学問を修めたかは明らかではありませんが、彼は鎖国の世にあって、目を世界に向け、地理学を研究し、「地理書」を著し、世界地図の模写につとめたといえます。

25歳の年（1800）には、地理学研究の書「地球万国図説」を著し、そこでは、（おそらく一般的な形のものと思われそうですが）地球儀の製作をしたことと、これを寺子屋教育で使ったとの記述が残されています。

そして傘式地球儀ですが、安政2年（1855）80歳のときに製作されたものが故郷の茨城県土浦市に残されていて、それは12本の骨と長さが40センチメートルほどの柄を持つもので、傘を開くように片方を押し上げると風船状に地図が開く仕掛けになっています。逆に閉じると小箱に収納できる優れものです。さらに特徴的なのは、計算された傾き（36度）を持つ支持台に載せられた地球儀からは、日本が真上に配置されるようになっています。ちなみに、この地球儀の本初子午線（経度零度とした子午線）は、大西洋のカナリア諸島にあります。

傘式地球儀は同好の士に頒布されたほか、江戸や大阪にも送られ、諸侯にも届けられ好評であったといえます。それを裏付けるように、「五月中 地球儀一箱二十入り 江戸へ出荷」などと記載された「手控え」が残されています。現在は、土浦市博物館のほか神戸市立博物館と山口県防府市の毛利博物館も所蔵しています。

最後に、地球儀の解説書に添えられた、墨遷の思い入れを聞いてみましょう。

「私は若いころ地球儀を作り、長い間持っていた、近ごろしきりに、銅版で印刷して同好の士に分けないかと勧める者がいて、八十の年寄りであるが、昔からの地図を描きたいという癖がまたまた頭をもたげ、……早々にできあがった。多くの世界地図愛好家に見て頂きたく、永く子孫にも残したいと思うものである。願わくはこの仕事が、ボケ老人一世一代の快挙であるとともに、後世へのよい贈り物とならんことを」（「沼尻墨遷」青木光行ほか著 筑波書林）



傘式地球儀（土浦市博物館パンフレットから）

【散歩の途中で】

土浦市立博物館：茨城県土浦市中央町 1-15-18（傘式地球儀を所蔵）

博物館には、墨僊の傘式地球儀のほか、土浦藩士で蘭学者であった山村才助が所蔵していた「坤輿万国全図」も所蔵しています。

神戸市立博物館：神戸市中央区京町 24

毛利博物館：〒747-0023 山口県防府市多々良 1-15-1

牛肉店の主人が奉納した青銅製地球儀

最近ではモバイルでの地図やネット上の地図ばかりでなく、地球儀さえも進化を続けているようです。地球儀などを専門に扱う店には、話す地球儀、光る地球儀、点字の地球儀など多彩な商品が陳列されています。

その地球儀、日本で最初に製作した人が誰なのかは明らかではありませんが、現存する最古のものは渋川春海（1639-1715）が製作したもので、元禄 3（1690）年に伊勢神宮に奉納され、同徴古館に所蔵されています。また、平戸市の松浦史料博物館には、第 7 代藩主松浦静山が長崎で購入したという、1700 年製のオランダの地球儀と天球儀が残されています。そして、天理大学付属天理図書館は、西洋古地図や絵地図の他、欧州製の地球儀と天球儀を約 50 個も所蔵しています。

話は変わりますが、歌舞伎役者の市川團十郎は成田不動に帰依して「成田屋」の屋号を名乗り、不動明王が登場する芝居を打ったことから成田不動は庶民の信仰を集めたといえます。

そのお不動さんを祀る成田山新勝寺（千葉県成田市）は、初詣や有名人による節分会などで有名ですが、本堂左手石段を上ったところには、額堂と呼ばれる奉納額や絵馬などを掲げる建築物があります。

現地説明板によると、額堂は文久元年（1861）に建立されたもので、屋根は入母屋椼瓦葺で重要文化財に指定されています。掲げられた多くの額や絵馬とともに、床面には左から「旧梵鐘」、「勝軍地蔵尊」、「方位盤」、「成田屋 七代目市川團十郎の座像」そして、「青銅製地球儀」が鎮座しています。

この地球儀は、明治 40 年（1907）11 月に東京上野の牛肉店の奥平洋三、梅子夫妻が店名「世界」にちなんで、日露戦争の戦勝記念に奉納したもので、直径 110cm ほどの青銅製で子午環の上に 23.5 度の傾斜をもって設置されています。過去には、その脇に説明書きがあって、「日本帝国を銀色にしたのは、目立つように見せるためであり、これによって見物人がこの国のことを思い、将来の発展と輝かしい国づくりを心がけてほしい」と、あったといえます。当時は大日本帝国の範囲に銀の象嵌を施していたのですが、今では参拝者の日本を思う心が強すぎたのでしょうか、磨耗して、その面影はありません。

そして、青銅製地球儀の隣に鎮座する「成田屋」の座像が、「地図好き人」には伊能忠敬のように見えるから不思議です。

青銅製地球儀を奉納した、信心深い、そして夫婦睦まじく歩んできたと思われる牛肉店のその後どうなったのでしょうか。



【散歩の途中で】

成田山新勝寺：千葉県成田市成田 1

○地球儀がある博物館など

松浦史料博物館：長崎県平戸市鏡川町 12 （平戸藩第 7 代藩主松浦静山所蔵の地球儀）

天理大学附属天理図書館：奈良県天理市杣之内町 1050 （多くの地球儀を所蔵する図書館）

伊勢神宮徴古館：三重県伊勢市倉田山（日本最古の地球儀を所蔵）

○地球儀の販売店など

伊東屋：東京都中央区銀座 2-7-15

<http://www.ito-ya.co.jp/>

地球儀専門店：東京都中央区日本橋室町 1 丁目 12 番 10 号 第 2 山田ビル 1 階

<http://popup.fmfuji.co.jp/rtb/20050227/01.html> 注) 地球儀専門店のページではない

渡辺教具製作所：(地球儀製作)

<http://blue-terra.jp/index.html>